

■ 共済部からのお知らせ



認知症共済新登場

ご自身やご家族がいつまでも安心して暮らすために
認知症の予防と備えについて考えてみませんか？

長寿化の進展等により、認知症は誰にとっても身近なリスクになってきています。

2025年には約1,362万人*1
65歳以上の

約3人に1人*2



認知症や軽度認知障害(MCI)の患者数は、
2025年には65歳以上の高齢者人口約3,677万人の
約3人に1人、約1,362万人に達すると推計されています。

認知症には、介護費用のほか、検査・ケア・医療のための費用がかかります。

認知症に伴う費用の目安

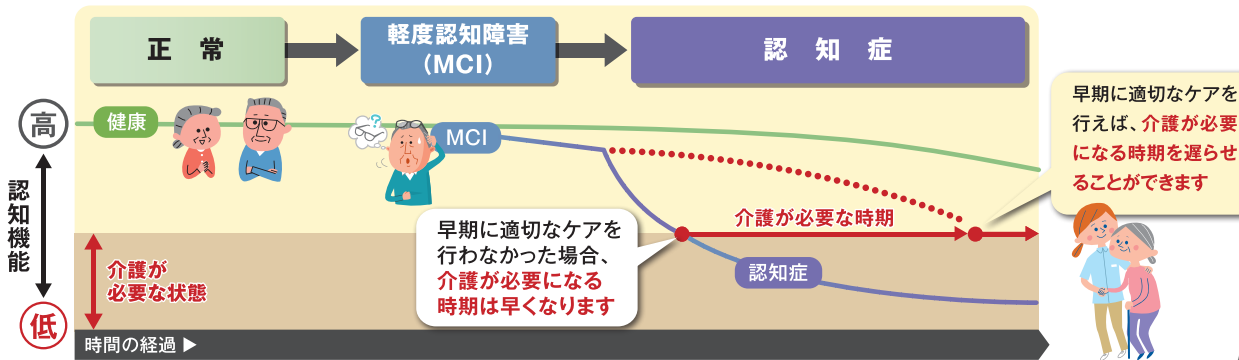
介護にかかる自己負担額*3

介護費用 1か月平均8.3万円 × 介護期間 平均5年1か月 = 総額 約507万円

検査・ケア・医療の例	費用の目安(1年間)	5年間継続した場合
MCIスクリーニング検査	MCIのリスクをはかる血液検査 約2万円*4	約10万円
もの忘れドック	脳の異常や記憶力・認知力の低下がないかを 確認する画像検査・認知機能検査等 約5万円*5	約25万円
認知症デイケア	運動療法や認知トレーニング等を行う プログラム(公的医療保険適用) 約4~12万円*6	約20~60万円
認知症の外来医療費	投薬やリハビリ等 約4~14万円*7	約20~70万円

早期発見と適切なケアで介護期間を短くできれば、ご自身やご家族の負担軽減につながります。

認知機能と時間の経過のイメージ図



*1 「厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会 第115回(H26.11.19)参考資料」,「厚生労働省 社会保障審議会 介護保障部会 第78回(令和元年6月20日)資料」をもとにJA共済連にて試算
*2 内閣府 令和3年版高齢者社会白書をもとにJA共済連にて試算 *3 公益財団法人 生命保険文化センター「2021(令和3)年度 生命保険に関する全国実態調査」をもとにJA共済連にて試算 *4 約2万円/回(全額自己負担の場合)、年に1回としてJA共済連にて試算 *5 約5万円/回(全額自己負担の場合)、年に1回としてJA共済連にて試算 *6 公的医療保険の自己負担割合(1割~3割)に応じて約800円~2,400円/日、週に1回・年間52週としてJA共済連にて試算(千円単位切り捨て) *7 慶應義塾大学・厚生労働省「認知症の社会的コスト(2015)」をもとに費用の目安(1年間)を公的医療保険の自己負担割合(1割~3割)に応じて47,520円~142,560円(千円単位切り捨て)としてJA共済連にて試算

いつまでもわたしらしく 認知症共済

JAの認知症共済は、幅広い保障とサービスで
予防しながらしっかり備えられる、新しい保障です

ポイント1
認知症はもちろん、
認知症の前段階の
軽度認知障害(MCI)
まで幅広く保障します。

ポイント2
認知症の予防・早期発見
から発症後までを
トータルでサポートする
各種サービスが
ご利用いただけます。

ポイント3
簡単な告知で
ご加入いただけます。

ご契約例: 共済金額500万円

不担保期間

1年間

はじめの1年間は
認知症・軽度認知障害
の保障がありません。

① 認知症共済金 500万円 (共済金額×100%)

所定の認知症と診断確定+要介護1以上の認定中*のとき
*公的介護保険制度に定めるもの

② 軽度認知障害給付金 50万円 (共済金額×10%)

所定の軽度認知障害または所定の認知症と診断確定されたとき
※①・②の支払額を合計して、共済金額と同額が限度です。



生涯保障

ご加入

※この共済には、死亡時における保障はありません。 ※認知症共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。 ※この共済には、指定代理請求特約を必ず付加していただきます。
※共済金等のお支払いは責任開始時以後に生じた病気またはケガによる場合に限りです。 ※認知症共済金および軽度認知障害給付金にかかる責任(保障)の開始は、ご契約日からその日を
含めて1年を経過した日からとなります。なお、共済金の払込免除についてはご契約日から保障します。 ※軽度認知障害給付金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

[22021250011]